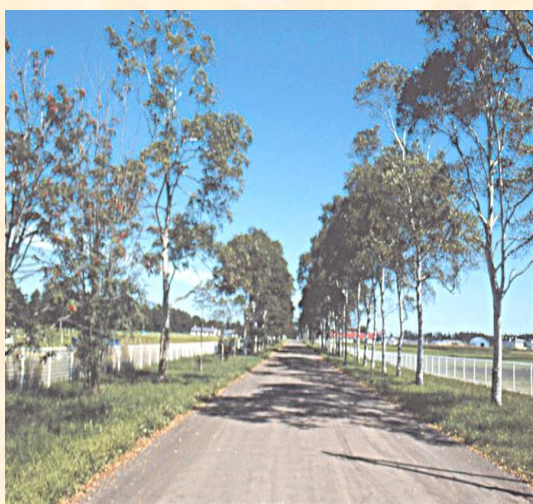


令和 7 年 度

中標津町の農業概要



町の木・白樺



町の花・エゾリンドウ

令和 7 年 12 月

中標津町経済部農林課

1 中標津町の概況

(1) 中標津町の人口等

年	男	女	計	世帯数	摘 要
17	11,672	12,120	23,792	9,745	国勢調査
	11,844	12,274	24,118	10,156	
18	11,823	12,325	24,148	10,236	
19	11,829	12,336	24,165	10,331	
20	11,808	12,372	24,180	10,413	
21	11,807	12,345	24,152	10,500	
22	11,750	12,232	23,982	10,083	国勢調査
	11,855	12,396	24,251	10,650	
23	11,830	12,374	24,204	10,763	
24	11,915	12,446	24,361	10,873	
25	11,890	12,423	24,313	10,960	
26	11,839	12,366	24,205	10,989	
27	11,629	12,148	23,777	10,433	国勢調査
	11,735	12,327	24,062	11,042	
28	11,672	12,216	23,887	11,084	
29	11,571	12,090	23,661	11,121	
30	11,519	11,974	23,493	11,201	
元	11,448	11,835	23,283	11,226	
2	11,341	11,682	23,774	10,567	国勢調査
	11,384	11,705	23,089	11,250	
3	11,263	11,604	22,867	11,317	
4	11,136	11,427	22,563	11,328	
5	10,994	11,242	22,236	11,294	
6	10,858	11,110	21,968	11,276	

※国勢調査結果以外は住民基本台帳世帯数・人口 12月末

(2) 中標津町の面積等

位 置	東経 144度58分18秒 北緯 43度33分17秒
面 積	684.87平方キロメートル（68,487ha）
距 離	東西 42キロメートル 南北 27キロメートル

(3) 中標津町の気象の推移

(気象庁の気象統計情報による)

区分				1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	全 年
平均 気温	中標津	平年	℃	-6.6	-6.5	-2.0	3.6	8.9	12.6	16.4	18.3	15.7	9.7	3.0	-3.7	5.8
		R6	℃	-5.3	-5.9	-2.1	7.3	9.8	14.7	20.0	20.5	16.7	11.8	3.8	-4.4	7.2
	札 幌	平年	℃	-3.2	-2.7	1.1	7.3	13.0	17.0	21.1	22.3	18.6	12.1	5.2	-0.9	9.2
		R6	℃	-1.8	-1.9	0.8	10.4	14.2	19.0	23.3	24.6	19.9	13.8	6.0	-1.9	10.5
降水 量	中標津	平年	mm	44.0	32.0	57.5	84.2	107.5	103.9	121.6	175.5	177.2	134.1	80.5	65.8	1,183.8
		R6	mm	35.0	15.0	64.0	82.0	70.0	67.0	93.5	212.5	96.0	98.0	71.0	16.0	920.0
	札 幌	平年	mm	108.4	91.9	77.6	54.6	55.5	60.4	90.7	126.8	142.2	109.9	113.8	114.5	1,146.3
		R6	mm	153.5	117.0	67.5	34.5	40.0	38.0	144.0	102.5	74.5	160.0	134.0	54.5	1,120.0
日照 時間	中標津	平年	h	142.7	142.8	168.2	161.9	160.3	125.7	104.6	108.4	131.4	154.3	145.0	139.5	1,684.8
		R6	h	118.6	167.9	207.0	141.3	145.4	147.2	141.6	67.7	167.5	158.1	124.6	158.5	1,745.4
	札 幌	平年	h	90.4	103.5	144.7	175.8	200.4	180.0	168.0	168.1	159.3	145.9	99.1	82.7	1,717.9
		R6	h	81.0	127.6	181.7	206.9	214.6	202.4	190.9	133.7	212.3	178.4	98.7	91.3	1,919.5

季節調査 (令和5年～令和6年)

(注：1) 平年値は前10ヵ年平均値 2) △は減を示す)

区分		令和5年		令和6年								
		初雪	根雪始	ばんそう(おそじも) 晩 霜	初霜	むそうきかん 無霜期間	最深積雪	2月20日		根雪終	降雪終	こうじょはじめ 耕鋤始
								土壌凍結深	積雪深			
		(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	(日)	(cm)	(cm)	(cm)	(月日)	(月日)	(月日)
本年 平年 比較		10月9日	12月12日	5月9日	10月21日	164	58	8	28	3月31日	4月9日	4月23日
		10月15日	12月20日	5月30日	10月14日	136	79	23	53	4月4日	4月20日	5月5日
		△ 6	△ 8	△ 21	7	28	△ 21	△ 15	△ 25	△ 4	△ 11	△ 12

(北海道立根釧農業試験場の定期作況報告による 平年値は前10ヵ年平均)

2 中標津町の予算

(1) 予算規模

(単位：千円)

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	対前年度 伸率(%)	摘 要
一般会計	16,141,000	15,892,000	16,386,000	3.11	
特別会計	4,786,071	4,884,146	4,798,068	▲ 1.76	国保、後期高齢者、介護保険、牧場
企業会計	8,956,811	9,497,194	9,910,208	4.35	水道、簡易水道、下水道、病院
合 計	29,883,882	30,273,340	31,094,276	2.71	

(2) 一般会計に占める農林業費歳出予算

(単位：千円)

科 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	対前年度 伸率(%)	摘 要
農林業費	658,986	685,238	718,916	4.91	・ 令和 7 年度一般会計に占める構成比 4.39%
農業費	502,101	543,093	537,861	▲ 0.96	・ 令和 7 年度一般会計に占める構成比 74.82%
林業費	156,885	142,145	181,055	27.37	・ 令和 7 年度一般会計に占める構成比 25.18%

(3) 中標津町営牧場特別会計予算

(単位：千円)

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	対前年度 伸率(%)	摘 要
町営牧場	67,534	69,741	64,123	▲ 8.06	・ 一般会計繰入金12,024千円 (R6 18,601千円) ・ 放牧料 46,740千円 ・ 貸地料 4,843千円 預託頭数 1日平均 804 頭 (R6 804 頭)

3 北海道・根室管内に占める中標津町の農業

項 目		単位	北 海 道	根室管内	中標津町	根 室 市	別 海 町	標 津 町	羅 臼 町	摘 要
総 土 地 面 積		ha	8,342,227	352,710	68,487	50,265	131,717	62,469	39,772	全国都道府県市区町村別面積調
総 農 家 戸 数		戸	34,913	1,362	355	105	750	143	9	農林業センサス（R2）
農業に60日以上従事数		人	85,665	3,603	951	261	1,953	416	22	農林業センサス（R2）
種 類 別 耕 地 面 積	総 耕 地 面 積	ha	1,138,000	109,792	24,400	9,370	63,200	12,100	722	北海道農林水産統計 R6根室の農業（資料編） R6北海道農業・農村統計表 令和6年産てん菜生産実績（北海道農政部 生産振興局農産振興課調べ）
	て ん さ い	ha	48,900	96	96	－	－	－	－	
	ば れ い し ょ	ha	48,700	360	360	－	－	－	－	
	夏 だ い こ ん	ha	2,640	115	84	－	8	23	－	
	そ ば	ha	26,100	1,144	612	－	321	211	－	
家 畜 の 飼 養	乳 用 牛	戸	5,170	1,087	269	80	613	117	8	R6畜産統計
		頭	821,500	172,576	39,626	10,455	100,408	21,483	604	
	肉 用 牛	戸	2,120	162	64	16	66	16	－	R6畜産統計
		頭	558,500	6,460	1,503	409	3,728	820	－	
		乳 用 種	頭	344,700	4,213	1,349	－	2,864	－	
		肉 用 種	頭	213,800	2,247	154	409	864	820	

4 農業生産額の推移

(単位：百万円)

区 分	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
農 業 粗 生 産 額	データ なし	データ なし	19,161	18,214	18,803	20,990	22,562	25,643	26,123	26,662	27,570	28,246	28,023	30,933	31,939
耕 種 計	—	—	840	976	1,130	1,233	908	1,089	1,245	1,074	1,137	1,048	1,144	919	1,047
馬 鈴 薯	—	—	374	386	353	397	381	354	392	374	381	417	416	407	416
て ん 菜			70	64	76	78	36	80	75	73	76	83	81	73	70
だ い こ ん			288	406	574	593	433	492	663	534	553	447	542	348	439
ブ ロ ッ コ リ ー	—	—	95	108	113	152	52	154	107	88	123	99	104	90	122
そ の 他	—	—	13	12	14	13	6	9	8	5	4	2	1	1	—
畜 産 計	—	—	18,321	17,238	17,673	19,757	21,654	24,554	24,878	25,588	26,433	27,198	26,879	30,014	30,892
生 乳	—	—	15,651	14,465	15,097	16,227	16,799	19,511	19,688	20,859	21,912	22,918	23,274	26,136	26,900
そ の 他 乳 用 牛	—	—													
肉 用 牛	—	—	2,670	2,773	2,576	3,530	4,855	5,043	5,190	4,729	4,521	4,280	3,605	3,878	3,992
そ の 他	—	—													

(両JA合計(非組未算入))

5 生産農業所得の推移

区 分	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
生産農業所得(千万円)	—	—	—	619	717	799	—	—	—	—	—	—	—	—	—
農 家 1 戸 当 り (千 円)	16,231	15,567	16,777	16,793	17,237	21,374	25,331	24,517	24,846	25,553	26,404	25,114	22,496	23,195	26,193
耕 地 10a 当 り (千 円)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
農 業 専 従 者 1 人 当 り (千 円)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(農協のクミカン取引実績の1戸平均農業所得)

6 農家戸数等の推移

区 分	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
農 家 戸 数	354	363	362	358	345	310	324	321	316	318	284	309	300	294	286
農業法人数	—	—	—	—	—	—	—	32	48	54	81	68	70	70	71

(平成22、27年、令和2年は農林業センサス その他は町独自調査)
(農家戸数について次表の離農・就農戸数との差引と合わないのは、年によって調査実施主体が異なるため。)

7 離農・就農等の状況

年 度	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
離 農 戸 数	5	4	5	5	5	6	5	5	4	5	7	4	8	6	4
就 農 戸 数	2	2	0	2	3	1	2	3	2	2	0	2	0	0	0

(平成22年度以降は農業委員会調べ 令和2年度以降は農業協同組合調べ)
※飼養戸数の推移とは整合しない。

8 乳用牛飼養戸数と飼養頭数の推移

区 分	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
飼 養 戸 数	319	315	312	309	303	296	300	297	292	295	292	289	280	275	267
飼 養 頭 数	41,098	40,612	39,855	39,291	39,221	39,573	39,410	38,920	39,264	40,283	41,646	42,615	43,195	43,543	36,124
1 戸 当 り	128.8	128.9	127.7	127.2	129.4	133.7	131.4	131.0	134.5	136.6	142.6	147.5	154.3	158.3	135.3

※H22以降は農協調べ及び町独自調査 各年2月1日

9 生乳生産量の推移

区 分	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
生産量（t）	180,945	182,161	186,755	183,089	176,995	181,696	185,594	184,737	187,258	194,676	203,478	216,797	219,125	216,095	212,153

（根室振興局調べ）

10 肉用牛飼養戸数と飼養頭数の推移

区 分	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
飼養戸数	データなし	データなし	66	66	59	56	55	57	51	53	58	59	53	80	64
飼養頭数	—	—	4,249	3,902	4,089	4,273	3,247	2,152	1,320	2,760	2,706	2,560	1,504	2,142	1,503
うち乳用種	—	—	—	1,576	2,596	—	1,496	1,247	1	1,373	1,281	1,186	1,301	1,284	1,349

（根室の農業資料編（H24～））（町調べ）

11 飼料作物、畑作物等作付と収穫量の推移

区分			22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
牧草計	作付面積	ha	—	—	—	—	18,742	19,114	17,918	19,140	19,685	17,447	18,153	16,853	18,758	18,448	18,478
	10a 当り収量	kg	—	—	—	—	—	3,670	3,660	3,740	3,660	3,740	3,740	3,750	3,800	3,790	3,800
	収穫量	t	—	—	—	—	685,304	690,235	648,113	715,836	720,471	652,518	678,922	631,988	712,804	699,179	702,164
とうもろこし	作付面積	ha	—	—	—	—	—	2,154	1,791	1,607	1,600	1,752	1,714	1,828	2,007	2,289	2,265
	10a 当り収量	kg	—	—	—	—	—	5,760	5,870	5,830	6,180	5,190	5,560	5,780	5,710	5,710	5,710
	収穫量	t	—	—	—	—	—	124,070	105,096	93,688	98,880	90,929	95,298	105,658	114,600	130,702	129,332
ばれいしょ	作付面積	ha	518	512	487	477	498	463	465	425	428	384	342	354	366	360	378
	10a 当り収量	kg	2,750	3,210	3,470	2,671	3,210	3,490	1,744	2,000	3,240	3,516	2,953	3860	3,300	3,660	—
	収穫量	t	14,300	16,400	16,900	12,743	15,999	16,200	7,953	8,480	13,900	13,500	10,100	13700	12,100	13,200	—
てんさい	作付面積	ha	公表なし		115	121	125	130	125	118	117	114	118	117	116	100	96
	10a 当り収量	kg	3,520	5,240	5,340	4,700	5,020	5,017	2,390	6,029	5,468	6,143	6,060	6,240	5,210	5,630	5,150
	収穫量	t	公表なし		6,150	5,671	6,275	6,250	2,983	7,108	6,420	6,985	7,128	7,323	6,059	5,646	4,927
夏だいこん	作付面積	ha	84	105	100	106	105	105	95	105	105	107	90	90	92	90	92
	10a 当り収量	kg	4,490	4,130	3,070	3,660	5,140	5,076	3,697	4,964	4,972	5,006	4,903	4,497	4,043	3,364	3,669
	収穫量	t	3,790	4,340	3,020	3,880	5,420	5,330	3,507	5,220	5,198	5,310	4,428	4,048	3,722	3,041	3,378
ブロッコリー	作付面積	ha	—	50	—	52	48	46	42	44	41	30	34	30	30	29	30
	10a 当り収量	kg	—	716	—	683	631	750	269	839	580	758	795	830	812	694	894
	収穫量	t	—	358	—	355	304	345	112	368	234	227	271	246	239	200	267
そば	作付面積	ha	145	199	199	227	268	303	368	362	380	413	447	423	433	612	772
	10a 当り収量	kg	59	133	133	90	84	118	2	94	89	56	102	100	78	113	106
	収穫量	t	86	265	133	205	226	358	10	342	339	231	457	425	339	689	821
小麦	作付面積	ha				21	46	57	51	48	46	45	62	57	公表なし	公表なし	—
	10a 当り収量	kg				329	222	421	284	523	359	542	400	537	462	517	517
	収穫量	t				70	102	240	144	251	165	245	248	306	公表なし	公表なし	—

(北海道農林水産統計・農林水産省市町村データ・根釧農試データ・JA資料)

(ばれいしょの数値についてR3年度までは農林水産省作物統計調査 R4年度以降は農林水産関係市町村別統計)

12 町営牧場預託牛の推移

年 度	延放牧頭数 (頭)	1日当り頭数 (頭)	放牧期間 (日)	摘 要
平成7年度	112,332	797	141	
平成8年度	109,094	833	131	
平成9年度	117,266	826	142	
平成10年度	118,531	841	141	
平成11年度	141,531	1,004	141	
平成12年度	132,136	905	146	
平成13年度	144,841	985	147	
平成14年度	152,258	1,080	141	
平成15年度	138,358	935	148	
平成16年度	156,729	1,052	149	
平成17年度	145,409	982	148	
平成18年度	131,994	863	153	
平成19年度	122,221	783	156	
平成20年度	148,121	932	159	
平成21年度	157,710	1,066	148	
平成22年度	187,940	1,228	153	
平成23年度	168,668	1,132	149	
平成24年度	162,124	1,039	156	
平成25年度	174,026	1,144	152	
平成26年度	171,399	1,120	153	
平成27年度	170,542	1,176	145	
平成28年度	150,381	1,016	148	
平成29年度	154,608	1,044	148	
平成30年度	127,520	845	151	
令和元年度	116,086	735	158	
令和2年度	129,321	840	154	
令和3年度	118,516	701	169	
令和4年度	132,205	821	161	
令和5年度	133,986	832	161	
令和6年度	123,140	804	153	

13 中標津町における森林の状況

(北海道林業統計 令和6年4月 1 日現在)

所 有 区 分	面 積 (ha)					蓄 積 (千m³)			摘 要
	計	天然林	人工林	無立木地	その他	計	針葉樹	広葉樹	
森林管理局所管 国 有 林	25,483	12,324	12,042	32	1,085	2,966	1,718	1,247	
その他国有林	34	34	—	—	—	3	—	3	
町 有 林	3,652	1,470	2,106	77	—	601	459	142	
私 有 林 等	3,857	2,245	1,421	191	—	544	328	216	
計	33,026	16,073	15,569	300	1,085	4,114	2,505	1,609	

注) : 合計は各数量の端数処理の関係で足し上げても合致しない場合がある。

11

14 年次別エゾシカ有害駆除実績

単位：頭

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6 年度
オスジカ	288	280	242	342	326	437	502	452	449	457
メスジカ	494	443	294	381	405	472	644	487	499	423
合 計	782	723	536	723	731	909	1,146	939	948	880
有効活用頭数 上段：食肉 下段：ペットフード 合 計	179	187	52	126	47	20	16	1	0	0
			449	586	668	872	1,106	917	933	833
			501	712	715	892	1,122	918	933	833

※有効活用⇒食肉として活用できた頭数（H29よりペットフード活用も含む）

農業関係機関・団体一覧

関 係 機 関 名	住 所	T E L ・ F A X
中標津町農業協同組合	中標津町東 7 条南 2 丁目 1 番地	Tel 0153-72-3275 Fax 0153-72-0175
計根別農業協同組合	中標津町計根別本通東 3 丁目 1 7 番地 1	Tel 0153-78-2111 Fax 0153-78-2556
北海道農業共済組合 ひがし統括センター根室北部支所	中標津町字俵橋 1 4 線 3 7 番地 3	Tel 0153-79-8600 Fax 0153-79-8610
北海道農業共済組合 ひがし統括センター根室西部支所	別海町西春別 1 0 9 番地 2 8	Tel 0153-77-5200 Fax 0153-77-5210
ホクレン農業協同組合連合会 中標津支所	中標津町東 7 条南 1 丁目 1 番地 2	Tel 0153-72-3027 Fax 0153-72-8199
根室生産農業協同組合連合会	〃	Tel 0153-72-2148 Fax 0153-72-4401
(財) 北海道農業公社 中標津支所	〃	Tel 0153-72-3296 Fax 0153-73-2080
北海道農業協同組合中央会根釧支所	釧路市黒金町 1 2 丁目 1 0 番地 釧路農業会館 3 階	Tel 0154-22-0910 Fax 0154-24-1069
(社) ジェネティクス北海道 道東事業所	中標津町南中 9 番地 4	Tel 0153-72-4554 Fax 0153-72-1325
雪印メグミルク (株) なかしべつ工場	中標津町丸山 2 丁目 9 番地	Tel 0153-72-3281 Fax 0153-72-4590
(地方独行) 北海道立総合研究機構 酪農試験場	中標津町旭ヶ丘 7 番地	Tel 0153-72-2004 Fax 0153-73-5329
根室農業改良普及センター北根室支所	中標津町東 5 条北 3 丁目 2 番地	Tel 0153-72-2163 Fax 0153-73-4123
中標津町立北海道中標津農業高等学校	中標津町計根別南 2 条西 1 丁目 1 番地 1	Tel 0153-78-2053 Fax 0153-78-2465
中標津町畜産食品加工研修センター	中標津町字計根別 2 8 1 番地	Tel 0153-78-2216 Fax 0153-78-2649

なかしべつの主な農業の歩み

明治	7年	開拓使御雇（かいたくしおやとい）地質兼鉱山師長ライマン（アメリカ人）、養老牛温泉調査
	22年	植民地選定、中標津地方は「中割原野」「モサ原野」「当幌原野」とよばれた区画の部分
	44年	乾定太郎が俵橋地区に入植、中標津に初めて開拓の跡が入れられた
大正	7年	中標津原野400戸1,731人の移住者となる
	8年	標津植民地産業組合設立
	12年	中標津移住世話所設置
		武佐・開陽地区に乳牛が導入され飼育が始まる
	14年	武佐に集乳工場ができる
	末期	経済不況とあいつぐ冷害凶作で離農者続出
昭和	2年	中標津市街地に北海道農事試験場根室支場の建設が始まる
	6～7年	穀物、夏期異常低温により大凶作となり主畜農業経営の転換を促す
	8年	根釧原野農業開発5ヶ年計画が実施される
	21年	標津村から分村（7月）
		北海道農事試験場根室支場に「畜産試験施設」新設
	23年	中標津農協、計根別農協、根室生産農業協同組合連合会設立
	24年	中標津村農業共済組合設立
	25年	町制施行（1月）
		中標津高等学校計根別分校開校
	27年	道立中標津家畜保健衛生所開設
		中標津高等学校計根別分校が町立中標津計根別高等学校として独立
	28年	道立根室馬鈴薯原種農場設置、冷害凶作
	29年	冷害凶作
	30年	畜力農法からトラクター農法への萌芽
	31年	冷害凶作、「集約酪農地域」に指定
	32年	冷害大凶作、ジャージー牛を導入
	33年	計根別酪農協組合発足農村電話開通
	34年	町立酪農高等学校開校
	37年	町営乳牛育成牧場開始
	38年	町立酪農高等学校閉校
		食肉センター完成
	39年	開拓農家離農助成対策事業開始
		冷害発生、農畜産物被害2億円にのぼる
		冷害を機に学校給食開始（計根別、中標津を除く全小中学校実施）
		町立計根別高校移転新築完成
	40年	農業学園開設
		春別（俵橋）地区国営開拓パイロット事業着手
	44年	標津・俵橋大規模草地改良事業着手
	45年	農業振興地域整備計画地域指定となる
	47年	春別（俵橋）地区国営開拓パイロット事業竣工
	48年	計根別地区営農用水施設完成
	49年	新酪農村建設事業着工
		北海道家畜改良事業団道東事業所完成
	50年	根室管内乳牛10万頭突破
	52年	人口2万人突破
	54年	中標津農業高校全日制となる
		北海道農業開発公社根室支所落成
		根室畜産振興公社開設
	56年	道立根室馬鈴薯原種農場閉場、町立馬鈴しょ原種農場として発足
	57年	新酪農村建設事業竣工
	62年	畜産食品加工研修センター開設
	63年	人口2万2千人突破

なかしべつの主な農業の歩み

平成	2年	「降雹」直径4cm、車、住宅、農作物に大被害
	6年	北海道東方沖地震発生（M8.1 震度6の烈震）被害総額95億円
	7年	中標津営林署が標津営林署に統合、中標津森林管理センターとしてスタート
	8年	畜産振興公社閉場 低温多湿による馬鈴しょ冷害凶作
	9年	商系澱粉工場閉鎖 ㈱根室ミートセンター発足（行政、農協、民間出資）
	10年	人口2万3千人突破
	11年	30度以上の真夏日10日を記録（観測史上3位）し、乳牛の熱射病・日射病が多発し15頭死亡
	12年	第1期中山間地域等直接支払事業着手（平成12～16年度・中標津地区集落、計根別地区集落、標津集落） 中標津農業高校校舎増改築完成
	13年	町立馬鈴しょ原種農場がJA中標津に移管 9月に国内初のBSEが発生（千葉県白井市：北海道佐呂間町）し、町にBSE対策本部設置 11月に北海道猿払村（2例目）・12月に群馬県宮城村（3例目）でBSE発生
	14年	北海道音別町（4例目）・神奈川県伊勢原市（5例目）のBSE発生
	15年	道立根釧農業試験場の新庁舎落成 ㈱根室ミートセンター解散 4例のBSE発生（累計 9例）
	16年	人口2万4千人突破 旧根室ミートセンター跡に北海道が死亡牛の「BSE検査室」開設 道立根釧農業試験場旧庁舎保存正式決定（中標津町に無償譲渡） 5例のBSE発生（累計 14例） 第1期中山間地域等直接支払事業竣工
	17年	第2期中山間地域等直接支払事業着手（平成17～21年度・中標津地区集落、計根別地区集落、標津集落） 別海町においてBSE発生（19例目） 7例のBSE発生（累計 21例）
	18年	13年振りの減産型生乳生産調整の実施（実施者：ホクレン） 中標津町牛乳消費拡大推進委員会を設置（委員長：町長） （有）中標津ファームサービスTMRセンター開設 かんばつ、大雨、低温による馬鈴しょ不作
	19年	全町的基础調査による農業振興地域整備計画の見直し 雪印乳業（株）なかしべつ新工場開設 中標津町地産地消推進協議会設置～中標津丸ごと給食実施 エゾシカ加工施設『トリジャーボア』設立（地域政策総合補助金） 減産型生乳生産調整から増産型に切り替る（実施者：ホクレン）
	21年	天候不順による畑作物（大根・てん菜・馬鈴しょ）及び飼料用作物（牧草・サイレージ用とうもろこし） 冷害凶作 乳牛疾病多発（BVD-MD・マイコプラズマ性乳房炎・サルモネラ（O21）他）～防疫推進対策奨励事業要領制定
		酪農・家畜農家への防疫対策の徹底、空港・公共施設・大型商業施設・宿泊施設等に消毒マット設置 ㈱開陽DAI設立（TMRセンター）
	23年	9月25日JA計根別TMRセンター落成 市街地エゾシカ対策として囲い罠設置（平成23年度実績6頭）
	24年	第1回エゾシカ有効活用フォーラム開催（3カ年の計画） 小麦ブロッコリーによる小麦の試験栽培始まる
	25年	エゾシカ加工施設『トリジャーボア』業務停止 エゾシカ有害駆除交付金事業開始（3カ年）初年度駆除1,110頭 中標津大根に大根バエ被害広がる
	26年	爆弾低気圧により通行止めが続き廃乳が発生 4月1日『牛乳消費拡大応援条例施行』（日本初） 中標津町鳥獣被害対策実施隊設置 なかしべつ大根が最高益を記録 J-クレジット制度において 589t-CO2認証 販売開始
	27年	気象台観測史上最高積雪深を記録（156cm） 児童センター（みらいる）竣工（森林整備加速化、林業再生事業により地域のガマツ材を活用） 廃校となった開陽小学校敷地及び体育館等を活用し、なかしべつ菌床栽培協同組合が、「シイタケ栽培」施設を建設する。生産量240t／年（林業・木材産業構造改革事業）

なかしべつの主な農業の歩み

平成 28年	8月中旬から後半にかけ1週間に3度台風が本道に上陸し、標津川が氾濫警戒水位を超え、一部地域に初の避難準備情報が発令される。畑の滞水、冠水により、畑作物の収量は例年の半分に落ちる。
平成 29年	比較的安定した天候で推移し、牧草収穫作業、農作物の生育ともに順調であった。 生乳生産量においては、前半は前年の台風の影響から粗飼料品質の低下を招き、前年を下回っていたが、29年産の粗飼料に切り替わった11月からは前年比を超え好調となる。
平成 30年	9月6日午前3時7分、北海道胆振東部に最大震度7の地震が発生。午前3時25分、北海道全域において、日本で初めてとなるエリア全域におよぶ大規模停電（ブラックアウト）が発生。 両農協は非常事態体制を組んで搾乳作業の復旧に努め、J A、個人で所有する発電機を地区ごとに融通しあい搾乳作業を実施。 町内酪農家全体で約500tの生乳廃棄があり、集荷業務が平常に戻るには約1週間を要した。 畑作では大根が過去最高の販売高を記録した。
平成 31年 令和 元年	日EU・EPA協定の発効。 中標津町農業協同組合が産地パワーアップ事業を活用し、JA中標津野菜選果場に野菜予冷库を新設。従来の1.5倍の収容ができ約150トン进行貯蔵できる。（事業費約2億5,400万円。1/2補助）
令和 2年	新型コロナウイルス感染症が拡大。蔓延防止のために休校、飲食店などで休業措置が取られ、学校給食用の牛乳や飲食店での牛乳・乳製品需要が落ち込んだが、飲用から加工用へ振り向け生乳廃棄を免れた。牛乳・乳製品の消費拡大PRのため、北海道を先駆けとして、SNSを利用した「SOS!牛乳チャレンジ」が普及した。 中標津町の生乳生産量が20万トンを突破。過去最高を記録した。
令和 3年	北海道農協酪連・畜産対策本部委員会が新型コロナウイルス感染症拡大の影響から牛乳・乳製品の需要減少が続き12年ぶりに生乳生産量を抑制することを決めた。また、年末には全国で約5,000tの生乳廃棄の危機があったが農林水産省の「NEW（乳）プラスワンプロジェクト」をはじめ各界で牛乳消費拡大キャンペーンを展開し生乳廃棄は免れた。 町内農場にて11月10日の大雨（61.0mm/日）による影響でスラリストアから溢れ出た家畜糞尿が標津川へ流出する事故が11月15日に発生した。 平成27年から開陽台牧場で行っていた道営公共牧場整備事業が完了。（総事業費467,693千円） Jクレジット制度において2,474t-CO2追加認証販売開始。 新たな特産品としてイチゴの作付けを行う農家が現れた。
令和 4年	世界的な穀物需要の増加やウクライナ情勢の影響等により、とうもろこしを主とする輸入飼料の価格上昇や、化学肥料価格が著しく高騰しているため、生産者の負担を軽減する措置として、「中標津町農業生産資材高騰対策事業支援金」を交付。（支援額116,925千円） 牛乳消費拡大及び6次産業化のPRを目的とした「なかしべつ空港マルシェ」を「なかしべつ空港フェスタ」と同時初開催。
令和 5年	夏場の猛暑の影響で酪農では乳量の減少や乳牛の体調不良が発生し、乳牛には大きなダメージとなり生産抑制に拍車をかけることになった。また、畑作では馬鈴薯の澱粉価とてん菜の糖量の低下のほか、著しい成長により収穫が追いつかず、ダイコンやブロッコリーが廃棄される圃場もあり、販売金額はダイコンで前年比64.2%、ブロッコリーで前年比87.1%となった。 ウクライナ情勢や円安などの影響で飼料価格が高止まりする中、生産者の負担を軽減するために「中標津町農業生産資材高騰対策事業支援金」を引き続き交付。（支援額は58,277千円） 根室農業会館新社屋が完成。 新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが2類から5類に移行。
令和 6年	猛暑日は限定的であり、酪農・畑作ともに猛暑の影響、被害は少なく経過。 販売金額はダイコンで前年比126%、ブロッコリーで134%と前年を大きく上回った。 瀬原馬鈴薯は8月の天候不順等の影響を受け、ライマン価（デンプン価）は平年並みで、販売額は前年並。 てん菜の出荷量は前年対比9割を下回った。 生乳の生産抑制が解除。